

上海出張報告 **COSCO訪問**

8月某日、中国出張にてCOSCO本社を訪問させて頂きました。昨年COSCO社はCHINA SHIPPINGと合併し、コンテナ運航規模世界ランキング4位となりました。また今年7月には香港船社のOOCLの買収を発表してコンテナ世界ランキング3位に浮上し、年間290万teuの運航規模となります。この度COSCO社におきまして、弊社の主力サービスである『北米航路/オーバーゲージ』の担当者様と面談させて頂きました。ここ最近では北米航路や世界中へのオーバーゲージ輸送の需要も高く、お客様へのスペースが安定供給しづらい状況が各船社で多く見受けられます。その中で今回のCOSCO社との面談は中国市場と日本の市場の違い、世界規模での海運業界の情報を知ることができ、大変有意義でありました。今後のスペース安定供給につながると確信しております。弊社の役割として、ものを運ぶだけでなく、荷主様の代わりに世界物流の生の情報を収集します。日本側では知り得ない世界中の海運・物流情報をメディアに出る前にいち早く察知し、新鮮な情報をお客様にご提供致します。船会社の本社と直接交渉できるパイプを作り上げることも使命とします。今後もこういった船社の各国の本社を訪問し、質の高いサービス・情報をいち早くご提供できるよう尽力して参ります。

名古屋本社 三国間担当: 李 茂 (リ モウ)



ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤



本船見学 **神戸港**



こんにちは、名古屋本社の久瀬です。先日、神戸港へお客様と港見学へ行ってきました。直近で見た港見学はアメリカLA/LG港、名古屋港、博多港ですが、毎回スケールの大きさに圧倒されます。今回の見学先は神戸港ですが、神戸港は日本の5大メジャーポート(国際貿易港)の1つで日本屈指の大きさを誇っています。関西圏の貨物はもとより中国・四国地方の貨物も神戸港から世界各地へ輸出されることも多くあります。また、神戸港は2017年で開港150年を迎えた歴史ある港で各地で様々なイベントが催されています。神戸港は六甲アイランド/ポートアイランドの2つの人工島で構成されており、今回はポートアイランドの見学をさせて頂きました。私自身、職業病ではありますが、この段積みされているコンテナの中に『私が手掛けているお客様の大切な貨物が外地へ向かう』と常に考えてしまいます。NVOCCという立場上、訪問先はお客様先が多いため、このように真近で見る船の大きさ、ヤード内で勤務されているスタッフのテキパキとした動き、個人的には非常に刺激を受けます。地域によつての取り扱い商品の違い、港の大きさの違い、寄港する船の大きさ、各地域様々な特徴があります。その圧倒されたスケールの大きさ、港の雰囲気・違いを肌で感じてみてはいかがでしょうか。

港(本船)見学ご希望の方は弊社営業担当までお気軽にお問合せ頂ければと思います。

名古屋本社 外勤営業: 久瀬 秀和



ジャパトラダービー in太平洋(北中南米航路)



[ジャパトラマン]

弊社8月度の北中南米航路 コンテナ本数取り扱い
第1位のジャパントラスト社員営業マンは

名古屋本社: 日比野 弘嗣

ご担当させて頂いておりますお客様、
ブッキングありがとうございました。
今後ともご支援よろしくお願い申し上げます。

